



学校だより

あいかわ

鈴鹿市立合川小学校

No. 5

令和7年6月2日

天栄中学校区リーディング DX 事業の取組

教育を取り巻く社会状況が急速に変化し、将来の予測が困難な時代に、児童生徒が自ら考え判断し、主体的に行動できる力を身に付けることが必要とされています。中央教育審議会答申では、子どもが学習を選択したり決定したりして進める姿、先生がいなくても学習を自分なりに進められる姿がめざされています。

そこで、天栄中学校区では、児童生徒の「主体的に学ぶ力」の育成を図るため、統一して「リーディング DX 事業」（子どもが主体となる授業）の取組を実施していきます。

これは、今まで学校で実施していた一斉授業主体の授業から転換を図り、授業の中で一人1台端末を活用しながら、子ども自身が自分に合った課題や学び方、学ぶ内容を選択していきます。そして、一人ひとりの思考を生かし、お互いに協力したり話し合ったりしながら学習することで、協働的な学びを生み出し、「自ら学びを進めていける児童生徒」を育てていく取組です。教科の内容や活動によっては、一斉授業も実施していきますが、段階的に「子どもが主体となる授業」へ移行していくことを目標にしています。

また、「リーディング DX 事業」の指導内容や指導方法を研修するために、校内で授業研究を行ったり、他校の研修会に参加したりするなど、教員の指導力向上にも努めていきます。

今後、教員の研修等で下校時間の変更を行う場合もございますが、ご理解ご協力をいただきますようお願いいたします。

低学年からの英語活動

合川小学校の特色として、低学年から英語に慣れ親しみ、コミュニケーション力を育成する取組を行っています。具体的には、月、水、金曜日の朝学習の時間に、モーニングイングリッシュを行ったり、水曜日の学校裁量の時間に、1年生と2年生がイングリッシュタイムを行ったりしています。



どちらも英語の時間に教科書を使って学習する内容とは異なり、英語で歌を歌ったりアクティビティを行ったりして、楽しみながら英語でのコミュニケーション力を身に付けていくことを目的

にしています。そして身に付けたコミュニケーション力を、各教科の学習に活かしていきます。

	月	水	金
モーニング イングリッシュ	3・4年 5年、6年	1年	2年

※3・4年～6年生は週ごとにローテーション

5月14日（水）は、1年生がモーニングイングリッシュを行いました。

最初は一人ずつヘンリー先生と英語であいさつをして、みんなで「HELLO SONG」を歌いました。どの子も、ジェスチャーを交えながら楽しそうに活動していました。

モーニングイングリッシュは15分間の活動ですが、年間を通して活動することで、低学年でも英語に十分慣れ親しむことができると考えています。

児童集会

5月21日（水）に5月の児童集会を行いました。

この日は、たてわり班で「ころがしドッジ」や「ラインナップゲーム」を行いました。ゲームの内容は児童会の役員が考えています。子どもたちは、どちらのゲームも歓声を上げながら楽しそうに活動していました。



合川小学校は、子どもたちの非認知能力の育成を大切にしていますが、児童集会では、児童会の子どもが主体的に集会を進めたり、仲間となかよく楽しむためにルールを守ったり、下の学年の子にボールを譲ったりする姿が見られました。

また、集会が終わった後、児童会の役員が集まって、集会の良かったところや課題について話し合いを行いました。各学年でも、非認知能力の視点で集会の内容を振り返っています。



児童集会のような行事の中にも、非認知能力を育むための要素はたくさんあります。今後も、学校の様々な活動の中で非認知能力の育成を図っていきます。

琴の体験

5月23日（金）に、東谷の飯場寿美さんに講師に来ていただき、4年生が琴の体験をしました。子どもたちは、琴の体験を楽しみにしており、実物の琴に触れたり美しい演奏を聴いたりして、とても喜んでいました。実際に一人ひとりが飯場さんの指導を受けながら、「さくら さくら」の演奏を行いました。初めての経験でしたが、どの子も上手に演奏することができ、とても満足そうにしていました。最後に尺八の紹介もしていただき貴重な体験になったと思います。

